



2022年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月7日

上場会社名 株式会社 ワキタ

上場取引所 東

コード番号 8125 URL <https://www.wakita.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇田貞二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 成山敦彦

TEL 06-6449-1901

四半期報告書提出予定日 2022年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	55,815	1.4	4,276	4.2	4,398	2.4	2,480	3.3
2021年2月期第3四半期	56,596	8.1	4,102	7.0	4,295	5.0	2,565	7.2

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 2,646百万円 (8.6%) 2021年2月期第3四半期 2,894百万円 (0.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	47.77	
2021年2月期第3四半期	49.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	141,852	97,844	68.5
2021年2月期	137,477	97,150	70.3

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 97,151百万円 2021年2月期 96,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		30.00	30.00
2022年2月期		0.00			
2022年2月期(予想)				33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,200	1.6	5,700	5.1	5,800	2.4	3,500	9.7	67.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期3Q	52,021,297 株	2021年2月期	52,021,297 株
期末自己株式数	2022年2月期3Q	134,696 株	2021年2月期	87,176 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期3Q	51,928,089 株	2021年2月期3Q	51,934,362 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年11月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、経済活動が抑制され厳しい状況で推移いたしました。各種施策やワクチン接種が本格的に始まり、2021年秋以降の感染者数減少を受け景気に回復の兆しが見られましたが、新たな変異株の出現などにより景気の先行きはいまだ不透明な状況が続いております。

当社グループが主力としている建機業界においては、民間設備投資は持ち直しの動きが見られるものの本格的な回復には至っておりませんが、公共投資は国土強靱化対策等により引き続き堅調に推移しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、558億15百万円(前年同期比1.4%減)、営業利益は42億76百万円(前年同期比4.2%増)、経常利益は43億98百万円(前年同期比2.4%増)、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は、24億80百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 建機事業

建機事業では、賃貸部門は公共事業を中心としたレンタル需要が堅調に推移いたしました。販売部門は取引先の購買意欲に回復基調が見られたことにより売上高・利益面とも伸長いたしました。

その結果、建機事業全体の売上高は、473億39百万円(前年同期比6.7%増)、セグメント利益は、30億72百万円(前年同期比15.7%増)となりました。

② 商事事業

商事事業では、介護事業は連結子会社の業容が順調に伸長したものの、それに伴う事業所の新設・移転等による費用も増加いたしました。また、遊技設備等の受注は事業の選択と集中を進める方針のもとに大幅に減少いたしました。

その結果、商事事業全体の売上高は、44億30百万円(前年同期比48.0%減)、セグメント利益は、3億7百万円(前年同期比19.0%減)となりました。

③ 不動産事業

不動産事業では、賃貸部門において保有しているオフィスビルやマンション等の稼働率は堅調に推移いたしました。保有物件の資産価値向上のため大規模修繕工事を行いました。また、ホテルの開業に伴う初期費用が発生いたしました。

その結果、不動産事業全体の売上高は、40億45百万円(前年同期比8.8%増)、セグメント利益は、8億95百万円(前年同期比16.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ43億75百万円増加し、1,418億52百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加17億58百万円などによる流動資産の増加21億53百万円、貸与資産の増加16億66百万円などによる固定資産の増加22億21百万円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ36億80百万円増加し、440億7百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加35億13百万円などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億94百万円増加し、978億44百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加5億17百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想につきましては、2021年4月9日の決算発表時に公表いたしました数値と変更はございません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は不確実性が高いため、今後も当該感染症の動向を注視し、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,124	22,883
受取手形及び売掛金	24,958	24,340
有価証券	5,373	6,466
商品	2,880	2,818
貯蔵品	114	96
その他	404	402
貸倒引当金	△102	△100
流動資産合計	54,754	56,907
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	9,773	11,440
賃貸不動産(純額)	43,141	44,569
土地	8,281	8,416
その他(純額)	6,026	6,320
有形固定資産合計	67,222	70,747
無形固定資産		
のれん	8,030	7,319
その他	358	579
無形固定資産合計	8,388	7,898
投資その他の資産		
投資有価証券	4,703	3,925
退職給付に係る資産	620	620
その他	2,191	2,203
貸倒引当金	△403	△451
投資その他の資産合計	7,111	6,297
固定資産合計	82,722	84,944
資産合計	137,477	141,852
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,771	18,284
短期借入金	1,540	1,163
1年内返済予定の長期借入金	3	77
未払法人税等	1,309	809
賞与引当金	350	246
その他	7,236	7,323
流動負債合計	25,210	27,906
固定負債		
長期借入金	3	173
役員株式報酬引当金	74	79
役員退職慰労引当金	15	17
退職給付に係る負債	213	248
その他	14,809	15,581
固定負債合計	15,116	16,101
負債合計	40,327	44,007

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,821	13,821
資本剰余金	16,627	16,627
利益剰余金	67,064	67,581
自己株式	△107	△154
株主資本合計	97,406	97,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,251	1,222
繰延ヘッジ損益	△16	74
土地再評価差額金	△2,144	△2,144
退職給付に係る調整累計額	135	122
その他の包括利益累計額合計	△773	△724
非支配株主持分	517	692
純資産合計	97,150	97,844
負債純資産合計	137,477	141,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	56,596	55,815
売上原価	42,752	41,166
割賦販売未実現利益繰入額	170	63
割賦販売未実現利益戻入額	258	200
売上総利益	13,932	14,785
販売費及び一般管理費	9,830	10,509
営業利益	4,102	4,276
営業外収益		
受取利息	16	10
受取配当金	70	93
仕入割引	36	35
為替差益	3	31
投資事業組合運用益	43	22
助成金収入	62	—
その他	44	45
営業外収益合計	276	239
営業外費用		
保険解約損	—	24
支払利息	75	76
その他	8	16
営業外費用合計	83	117
経常利益	4,295	4,398
特別利益		
固定資産売却益	25	7
投資有価証券売却益	—	28
特別利益合計	25	35
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	10	4
減損損失	—	144
特別損失合計	10	148
税金等調整前四半期純利益	4,309	4,284
法人税、住民税及び事業税	1,825	1,893
法人税等調整額	△166	△185
法人税等合計	1,658	1,708
四半期純利益	2,651	2,576
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	95
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,565	2,480

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
四半期純利益	2,651	2,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	254	△30
繰延ヘッジ損益	△1	113
退職給付に係る調整額	△9	△12
その他の包括利益合計	243	70
四半期包括利益	2,894	2,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,809	2,529
非支配株主に係る四半期包括利益	85	117

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)の仮定について、重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,351	8,527	3,717	56,596	—	56,596
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	5	—	6	△6	—
計	44,352	8,532	3,717	56,602	△6	56,596
セグメント利益	2,655	379	1,066	4,102	—	4,102

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,339	4,430	4,045	55,815	—	55,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	2	—	4	△4	—
計	47,340	4,433	4,045	55,819	△4	55,815
セグメント利益	3,072	307	895	4,276	△0	4,276

(注) 1 セグメント利益の調整額△0百万円は、固定資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

不動産事業セグメントにおいて、株式会社コルディアに係るのれんについて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては144百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

不動産事業セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間より、株式を追加取得したこと及び重要性が増したことにより株式会社コルディアを連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの発生額は144百万円であります。

また、上記(固定資産に係る重要な減損損失)のとおり当該のれんについて減損損失を計上しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては144百万円であります。

建機事業セグメントにおいて、株式会社グランドアース及び株式会社九州機械センターの株式を新たに取得したことにより連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの発生額は107百万円であります。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。